

Rotary



稲沢ロータリークラブ週報

承認日：昭和 38 年（1963 年）12 月 6 日 会長：永井伸治／副会長：小島洋一
 例会日：毎週水曜日 12：30～13：30 幹事：金森貴史／編集：広報会報委員会
 例会場：尾張大國霊神社（国府宮） E-mail：rcinazawa@gmail.com
 稲沢市国府宮一丁目 1 番 1 号 URL：“http://www.inazawa-rc.org/”
 事務所：〒492-8213 稲沢市高御堂 1-2-1（林商事ビル 1 階）
 電話：0587-24-0740 FAX：0587-89-0265 事務局携帯電話 090-4853-5262



世界に希望を生み出そう

2023-24 RI 会長
 ゴードン R. マッキナリー

～稲沢 RC2023-24 年度会長方針～
 創立 60 周年を祝おう ROTARY で
 つながろう 未来へつなげよう

本日の例会プログラム 第 2857 回例会 4 月 17 日（水）

例会場：稲沢市民病院 職場例会 健康診断（16・17・18 日）

テーマ「腰痛について」稲沢市民病院顧問脊髄抹消神経センター長
 脳神経外科 高安正和 医師



第 2856 回例会報告 4 月 10 日（水）晴れ No. 32

☆点 鐘☆	会長 永井伸治
☆司 会☆	会場副委員長 菅原勝行
☆唱 和☆	我らの生業
☆ビジター☆	
☆会長挨拶☆	会長 永井伸治



本日の参道は、桜満開です。とてもいい日になりました。4 月 7 日に開催された地区研修協議会にご出席の皆様、お疲れさまでした。いよいよ次年度の鼓動が聞こえてきました。本年度から次年度への引継ぎをスムーズに行いたいものです。

今朝のテレビのワイドショーでも紹介されていましたが、本日 4 月 10 日は、上皇上皇后ご夫妻のご成婚 65 周年記念日です。私は、皇室の話題をメディアなどで拝見しますと、平成 30 年（2018 年）11 月に私が団長を務め、山田典永君、伊藤賢治君を含む 21 人の団員と共に皇居勤労奉仕に従事した 4 日間のことを思い出します。宮内庁庭園課の職員に案内され皇居内の清掃奉仕をします。そればかりか、皇居宮殿、東御苑、乾通り、大道庭園、宮中三殿、生物学研究所など、普段一般の人が入ることができない施設をご案内いただけます。ま

た、天皇皇后両陛下（現、上皇、上皇后ご夫妻）に直接お目にかかれる「ご会釈」では、団長に直接お言葉を賜ることができ、感無量でした。4 日間の内の 1 日は赤坂御用地の清掃奉仕が組まれます。そこでは、東宮御所において皇太子殿下（今上天皇）のご会釈を賜り、私は万歳三唱の先導を執らせていただきました。最終日には、陛下からの賜り物を拝受し、貴重な体験を終えます。日本人としての誇りをより一層持てた中身の濃い 4 日間でした。本年秋に、再度奉仕団を結成して勤労奉仕をして参ろうと計画しています。

さて、今月 4 月は、ロータリーの特別月間の「環境月間」です。2020 年 7 月に、RI は 7 番目の重点分野として「環境の保護」（当時の和訳は「環境の保全」）を追加しました。もともとロータリーでは、地球温暖化をはじめとするさまざまな課題を克服して、人類の生存を確保するため、植林など自然環境整備の活動が広く行われていました。私が稲沢ロータリークラブに入会したころは、社会奉仕委員会の小委員会として環境保全委員会があり、「ロータリーの森清掃活動」「CO2 排出削減キャンペーン」など、自然環境保全活動がなされていました。RI のホームページによれば、ロータリーは、人類共通のレガシーである「環境保護」が重要だと信じ、3 つのキーワード「環境を守る」・「気候変動」・「生息地を救う」を基に、ロータリークラブやロータ

★出席報告★ 報告者：会員組織委員長 加藤太平

会員総数	53 名	前々回修正	3 月 27 日
出席人数	39 名	出席人数	33 名
会員数	(内免除者 5 名)	会員数	(内免除者 4 名)
欠席者数	14 名	マークアップ数	10 名
	(内免除 7 名)		
出席率	84.78%	修正出席率	95.56%

☆ 例会 臨時変更通知 ☆

クラブ名	月/日（曜日）時間	マークアップ会場

今週のマークアップ

樋田文裕・大宮隆志・近藤尊敬・石黒港・加藤亮介・伊藤賢治・松原裕史 (D2760)
 山崎晃司 (一宮中央) 加藤太平 (B.D) 高桑宏幸 (C.O.M)

☆ 例会 日程 ☆

4 月 24 日（水）	5 月 1 日（水）	5 月 8 日（水）12：30	5 月 15 日（水）12：30
卓話： IAC 例会（17：30）	休会（定款 7-1） IAC 例会（17：00）	幸福例会 会員表彰 第 11 回理事会（例会後） 準備理事・委員長会議（例会前）	卓話： 第 8 回創立 60 周年記念実行委員会（例会後）

リアンの活動を促しています。
当クラブでは本年度、創立60周年記念事業として、国府宮参道樹木整備事業を行うことができました。次年度以降も環境保護に関する活動が行えることを期待します。

～Today's Information～ ◆◆報告事項◆◆

◆◆幹事報告◆◆

幹事：金森貴史

◆大阪・関西万博開幕日の入場券及び予約について
第2660地区より開幕日（2025年4月13日）の入場券を一括でご予約いただけるとの案内が地区を通して届きました。詳細は別紙でご案内します。

ご希望の方は、事務局へお申し出ください。

※開幕日のみです。それ以降のチケットは承ることができません。

※入場のみでパビリオンの見学等のご予約は各自する必要があります。

◆◆ニコボックス報告◆◆

報告者：ニコボックス副委員長 鵜飼博信

山田 森望さん、林茂夫さん、岡田さんお世話になりありがとうございました

山田 岡田さん、お世話になりありがとうございました

山本 川合エレクトお世話になりました。ごちそうさまでした。

真野 川合さん、先日はありがとうございました。

伊藤(浩) 例会欠席のお詫び

大宮 業務多忙 早退のお詫び

永井・小島・金森・鵜飼・鈴木 卓上花をいただいて

◆◆地区研修・協議会報告◆◆（報告は次年度の役職）

第1分科会

幹事 山本敏裕

吉川ガバナーの点鐘により本会議が始まりました。

特別講演では、RI第2750地区のバスターガバナーの服部陽子さんが「DEIからクラブ活性化へ」という演題で思いのこもった講演をされました。

その後、各分科会に分かれ研修がありました。

私は、第1分科会に出席しました。

「魅力あるクラブ 持続可能な奉仕活動 成長するロータリー～行動計画 4つの優先事項にそって戦力計画を～」をテーマで6つのプログラムがありました。

私自身も持続可能なクラブに寄与できるように楽しくロータリーライフを送っていきます。

第2分科会

会場委員長 菅原勝行

テーマ【魅力的で持続可能 そして、成長する例会を創る】に参加して

私の第2分科会は会場・親睦活動・クラブ奉仕などの各委員会に関わる方々と共に拝聴してきました。

冒頭挨拶では、照井栞次期地区ラーニング委員長から色々話す機会が多くなる中で、まず話す前に内容の段取りと音読を行い、敬語を使うにも慣れるまでは言葉の頭に『御（「お」や「ご」）など』を使わずに繰り返す事で話し方も上達するとコツを教わりました。

続いて古田嘉且前研修実行委員長から例会のあり方についてお話をいただきました。

時代と共に例会内容などが変化しているクラブもあると思いますが、コロナ以降例会出席義務の忌避、おごなりを懸念されているところでもあります。

こうした課題を解決するうえで、まずは会員が例会に来て楽しいと感じてもらい、またクラブから自分が受け入れられていると実感がもてるクラブ運営を図ることが重要ではないかと話されました。

そのために必要な対応として、会員卓話の充実を図り、会員相互の理解を深めると共に、その意見などをクラブ指導者が受け入れ、クラブのために適切な決定を行うことで、会員一人ひとりに思いが通じ、クラブへの魅力が向上するのではないかと話されました。

最後に高野孫左エ門ロータリーの友事務所代表理事から元気なクラブを目指ためには、クラブの基盤強化に向けた取り組み・挑戦が必要と話されました。

その基盤強化を図るうえで必要となる5つのポイントを教わりました。

①例会の楽しみ

②クラブ指導者への信頼

③自己成長の機会

④つながり

⑤意義ある奉仕

それぞれのポイントにおける課題抽出を行い、会員自身がクラブの一員であると実感できるアクションプランを複数年軸で形成し、そのプランを会員相互で一緒に取り組んで行く事が重要だとお話されました。

今回の分科会を通じ、魅力を感じて例会に参加する気持ちをもっと引き起こすには、自分も含め会員一人ひとりがクラブの目的・理念に基づき、会員ファーストな思いと行動、また思考・検証を繰り返すことで例会の質も上がり、例会への楽しみ・期待感が増すのではないかと感じました。

こうした点を鑑み、私自身としても次年度への参考とし、励んで行きたいと思えます。

第3分科会

広報会報委員長 山崎晃司

第三分科会 公共イメージ向上委員会の役割

@ロータリーとはどんな組織かを広く伝える。

ロータリーとは世界200か国以上の国と地域にわたり会員数120万人の会員を有する組織。それぞれの職業において職業倫理を高めるリーダー的存在を目指している人たちがクラブを通じて知り合いを広め社会奉仕の機会として国際理解、親善、平和を推進している。まずは自分の所属するクラブが何をしているのかまた世界のロータリークラブがどんな奉仕活動をしているかを知る。

具体的に知るツールとしての情報誌ロータリーの友の閲覧やMY ROTARYの活用を推進します。

またロータリーに対して公共イメージが向上すると人々の理解が深まり協力者が増える。そのことによって会員のモチベーションのアップにつながり結果として会員数の増強にも寄与する。

第4分科会

国際奉仕委員長 加藤太平

クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕に並ぶ国際奉仕の姿勢ではあるが、クラブによって活動内容に大きな違いがあるのが国際奉仕活動である。

グローバル補助金や地区補助金を利用して海外活動を実際に行っているクラブはごくごく少数で、またそれを継続的な事業にできているクラブは限られてきます。

しかし、国内でできる国際奉仕活動という考え方では、様々なクラブが様々な活動をしています。姉妹クラブとの交流、現在過去の米山奨学生や交換留学生との交流や継続などから幅を広げていくこともできます。

また、愛知県は東京都に次いで外国人労働者数が全国2位の県であることから、地域内の外国籍の労働者やその子供たちへの支援などには様々な入り口があるでしょう。

改めて、それぞれのクラブによつての歴史や環境などを見直し、現状から未来に向けて可能な国際奉仕活動を考える機会にしたい。

第5分科会

社会奉仕委員長 大宮隆志

第5分科会は社会奉仕と職業奉仕に関する分科会でした。

地区のロータリー奉仕委員長、同副委員長、社会奉仕委員長、職業奉仕委員長、アシスタントリーダーと社会奉仕委員会、職業奉仕委員会の各副委員長の皆様からご挨拶をいただき、RIの掲げる社会奉仕と職業奉仕について、簡単にご説明がありました。

その後、数々ずつのグループに分かれ、グループディスカッションが実施されました。各担当者から、各クラブにて、これから取り組もうとしている様々な社会奉仕活動について説明がありました。私からは、次年度のあくまでも予定として、地区補助金事業として、稲沢市内にあって、織田信長生誕の地と言われる勝幡城址の碑を修繕する事業について、計画を進めていることを説明させていただきました。

今後も研鑽を積んで参りたいと思います

第6分科会

ロータリー財団委員長代理 副幹事 新井仁志

第6分科会 ロータリー財団を学ぼう

地区財団委員会より以下4つのテーマについて講習がありました。

1. ポリオプラス職業研修について

現在、ポリオ常在国はパキスタンとアフガニスタンの二か国です。そのパキスタンの首都イスラマバードを拠点とし、ポリオワクチン普及に奔走する現地女性ロータリアンの活動が紹介されました。幼い子を抱えた母親のもとへ足しげく通うものの、宗教的な問題、価値観の違い、不安感等からワクチン接種に応じてもらえないケースも多いようです。また政情不安や出生数(二国計580万人/年)の多さが普及率向上の妨げとなっています。

残念ながら2024年3月にパキスタンにて二人のポリオ感染が報告されました。ポリオ根絶が実現するまで活動は続きます。

2. グローバル奨学生・平和フェローについて

厳正な書類選考と面接を経て、毎年若干名の奨学生が各国に派遣されています。ロータリーの掲げる重要分野に該当する、海外の大学院入学許可を取得した方が対象です。当地区からは本年度、名古屋みなとロータリーから医療分野にて、丸の内ロータリーから紛争解決分野にて、計二名

が派遣されています。それぞれの奨学金額は62,100ドル、41,400ドルとのことです。

3. 地区補助金について、4. 資金推進について

全体を通して、ロータリー財団の多岐に渡る活動、活動の成果、寄付額の大きさ等を学ぶことができました。吉川ガバナーエレクトから「ロータリーのエンジンは財団、ロータリアンはガソリン」とのメッセージがありました。私自身1リットルずつでも貢献できるよう活動を続けていきたいです。

第7分科会

青少年奉仕委員長 宮崎忠広

テーマは日本の未来の為に青少年と共に進もうでした。

インターアクト、RYLA、ローターアクト、青少年交換等について、歴史と沿革、現状と問題点について各委員長よりお話をいただきました。

現状、クラブ数の減少や生徒数の減少が進んでいます。こうした中、未来にどう向き合っていくのか。これからはロータリアンの関わりやアドバイスが、若い方々にとってより重要になっていくとの内容が語られました。

各委員長は時間内で準備された内容を十分にお話しできず、いずれも詳しくは卓話に呼んでくださいとの事でした。

第8分科会

米山記念奨学会委員長 水野厚司

第8分科会では米山記念奨学会についての発表でした。まず奨学生の人数についての説明があり2024学年度は889人の枠が設けられておりその内2760地区では51人が割り当てられるそうです。

この人数の枠を決めるのが寄付の金額で決まるそうですので寄付の金額が増えると奨学生の人数も増えるしくみになっています

あと寄付の金額に応じて表彰もあり所得控除も受けられるそうです

地域別奨学生数では中国、ベトナム、韓国、台湾の順に訪問されているようです

奨学生を受け入れたとき月1回の例会だけではなく普段から交流を持つようにしたり留学期間が終わってからも連絡を取り合うことが大事なことです。期間終了後に学友会に入会して様々な活動をする紹介がありました

第9分科会

入会3年未満会員 田中舞

ロータリーを学び、真のロータリアンになろう』のテーマで「第9分科会」を受講して来ました。

内容としては、

『ロータリーの目的』

『四つのテスト』

『ロータリーの行動計画』

『多様性、公平さ、インクルージョン (DEI) の定義』

『ロータリー財団のミッションステートメント』

について3名の講師の方が、わかりやすくご説明して下さいました。

その中で、私が直感的に感じたことは『歌が真髓!!』です。

全てのロータリーソングの歌詞には、今回の講師の方のお話が全て含まれており、奥深い言葉、意味のある歌

詞で簡潔に表現された内容だと改めて感じました。

今後は、ただ歌うのではなく歌詞を噛みしめながら、その奥にある意義、目的や目標、ロータリークラブ、ロータリアンの理想の姿を感じ、音痴ではありますが歌いたいと思います。

また、改めて未熟者の私をお仲間に入れて頂けたことを感謝し、今後とも皆様と一緒に楽しく社会奉仕活動できるように親睦が深めればと思っておりますので、よろしくお願いたします。

それでこそロータリー！

